

異文化と

心通わせ

(104)

村田 佳子



この季節、お歳暮やクリスマスプレゼントを選ぶのに頭を悩ませている方も多いでしょう。お酒やハムなど定番が決まっている場合は別として、相手の好みをまだ知らない場合、ちょっととした観光するため16歳の息子「賭け」のような気分に、さんも一緒にでした。残念

なるものです。外国人にささやかな贈り物を選ぶ場合も迷ってしまうことがあります。

先日、米国・テキサスから仕事で知人が来日しました。帰りに数日間、観光するため16歳の息子

ながら直接会うことができなかつたので息子さんが、あてに何か贈ろうと思いまし

都内の公園でインタビューを受けたその学生

学の学生やそのオーケストラなどをテーマにして人気を博し、テレビドラマが喜んで食べていたのは「コンビニ弁当」でした。日本マンガには登場人物が「コンビニ弁当を食べる」というシーンがよくあ

ったことがありましたが、その後、帰国した知人

が、日本のマンガを読んでも読んでいたり、あるいは「のだめカンタービレ」（二ノ富知）などは渡せませんで

たが、初めての旅の土地、日本を思い出しながら、マンガの中にも描かれていました。

最初で、サックスを習っており、コンクールにかかると話していたので、前回の練習のためサックス持参で来日している」ということのみ。「はて…どうなるのが喜ばれるのかな。私は音楽についてもチキンカングンですし、16歳くらいの知り合いもないのこの年代の子供が好む

ほどの描写に日本のマンガのすごさを感じます。それは世界に影響力のある日本のマンガですか、うれしかしたら知人のが、日本のマンガを読んでも好きかもしだら、もしかしたら知人の失敗しても誰かにお土産

するところ、あるニュースを思い出しました。それはフランス人の学生

にしてもらつてもいいし、われたらいどうしよう…。そう思いながらもまあ、贈つてみると…」って言ふことです。



贈り物、失敗したとしても…

…というのも彼が喜んで食べていたのは「コンビニ弁当」でした。日本のマンガには登場人物が「コンビニ弁当を食べる」というシーンがよくあります。そこで、初めての旅の土産を購入するため、一度食べてみたり、英語版を以前、本屋で見つかったと話していたので、息子さんはクラシック音楽を習っている。荷物に楽を買つていて、荷物に興味をもつてくれるといいなあと思います。

登場人物がカブエテリアで好きなものを選んで食べます。「はて…どうでもいいシーンにあこがれを抱いていたのですが、抱いていたのですが、かからない！」ときどき1冊、贈り物用に包んでおかれることになりました。贈り物を独断で選んだら、いつもおさらばするものでも思い出、笑い話になります。ぜひ特に子供にとってほんとに思ひ出、笑い話になれるように思います。ぜひ楽しんで選んでほしいと思います。

（鶴岡市出身、コーチング・システムズ）